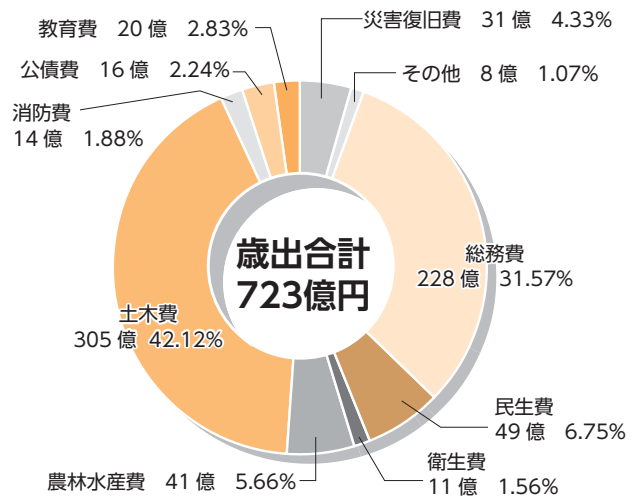
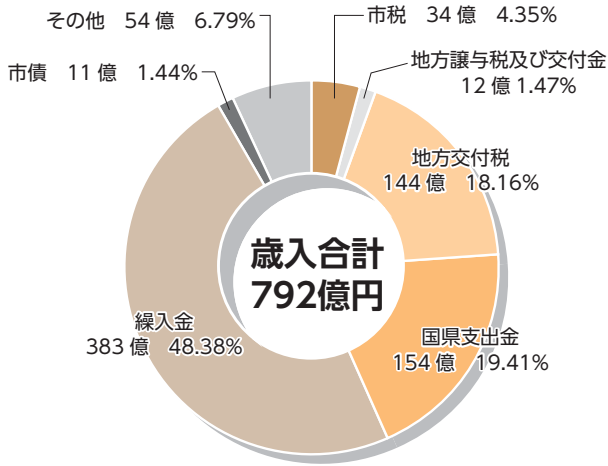


平成 27 年度 一般会計決算収支状況 (単位：億円)



※合計額が一致するように端数処理をしています。

決算審査 財務常任委員長報告

認定すべきもの

審査は、一般会計ほか国民健康保険・下水道・震災復興関連事業など9特別会計の歳入総額で約1093億円、歳出総額で約1005億円を3分科会を設置し行ったものです。

質疑は175件250項目にわたり出され、当局の説明に対し精力的に議論を展開しました。現場は新設の野蒜高台の宮野森小学校を始め7カ所をつぶさに視察しました。

結果として、本財務委員会では平成27年度決算について、27件の提言を付し「認定」しました。当局は提言を踏まえ、行政経営をしていただきました。詳細は5ページを参照。



▲審査結果を報告する佐藤富夫委員長

用語解説

一般会計 本市を運営するための中心的なもので、福祉や教育など住民に広く行われる事業における会計です。

特別会計 一般会計とは別に特別な事業を行う

平成 27 年度各種会計決算収支状況

(単位：千円)

会計別	歳入	歳出	
一 般	792億6,130万0	723億8,052万4	
特 別 会 計	国民健康保険	59億7,219万5	58億1,191万1
	後期高齢者医療	3億4,665万8	3億3,921万1
	介護保険	29億3,216万2	28億5,297万1
	農業集落排水事業	1億5,181万8	1億5,087万0
	漁業集落排水事業	732万3	712万2
	下水道事業	82億7,368万2	80億1,427万9
	野蒜北部丘陵地区土地区画整理事業	59億2,453万5	59億2,453万5
	東矢本駅北地区土地区画整理事業	14億8,736万8	14億8,736万8
	大曲浜地区土地区画整理事業	49億7,225万4	35億8,015万3
合 計	1,093億2,929万5	1,005億4,895万4	

合計額が一致するように端数処理をしています。

ための独立した会計を言い、本市には、平成27年度末時点で、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、下水道事業など9つの特別会計があります。

健全化判断比率 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」・「将来負担比率」の4つの指標により、財政状況の健全度を示すものです。また、資金不足比率は、各公営企業の経営状況の健全度を示すもの。